

# 商用車(トラック・バスなど)におけるCNに向けた取組み

2024年12月23日

いすゞ自動車株式会社

カーボンニュートラル戦略部門 CN商品企画・設計部

**高松 勇太**

# 商用車の社会的意義・必要な要件

商用車の存在意義： 生活インフラとして様々な架装と組み合わせて人々の生活を支える事  
必要となる要件： 最小限の環境負荷で仕事を行い事業者が稼げる事

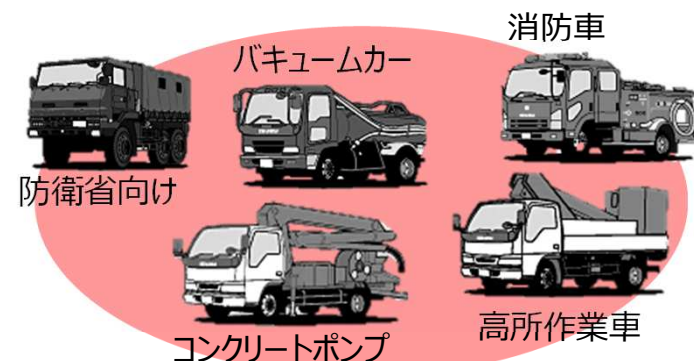
## 純粋に荷物を“運ぶ”車両



## 特定の荷物や人を“運ぶ”車両



## 架装物が仕事をする“働く”車両



## 必要な要件

① 働ける車  
(仕事の効率:積める、動かせる、運べる)



② 環境に優しい  
(最小限の環境負荷)



③ 事業者にとって優しい  
(経済合理性)



カーボンニュートラル化：様々な“使われ方”や“必要な要件”を満たさなければならない

# 次世代車両開発の取組み

低炭素化、カーボンニュートラル電動化に向け多様な動力源の車両を開発/生産中

## BEV※ バッテリー(蓄電池)

小型  
量産中



小型  
バッテリー交換式  
いすゞ構内実証中



路線バス  
量産中



ピックアップトラック  
2025年度から欧州導入  
順次他国へ展開



## FCV※ フューエルセル(水素燃料電池)

小型  
日本でCJPTにて  
実証実験中



大型  
2023年12月  
実証実験中



路線バス  
検討開始



## ICE※ 内燃機関エンジン

CN燃料  
バイオ  
合成燃料

バス  
モニタ  
運用中



CNG  
圧縮天然ガス  
バイオメタン

大型  
小型  
量産中



LNG  
液化天然ガス  
液化バイオ  
メタン

大型  
量産中



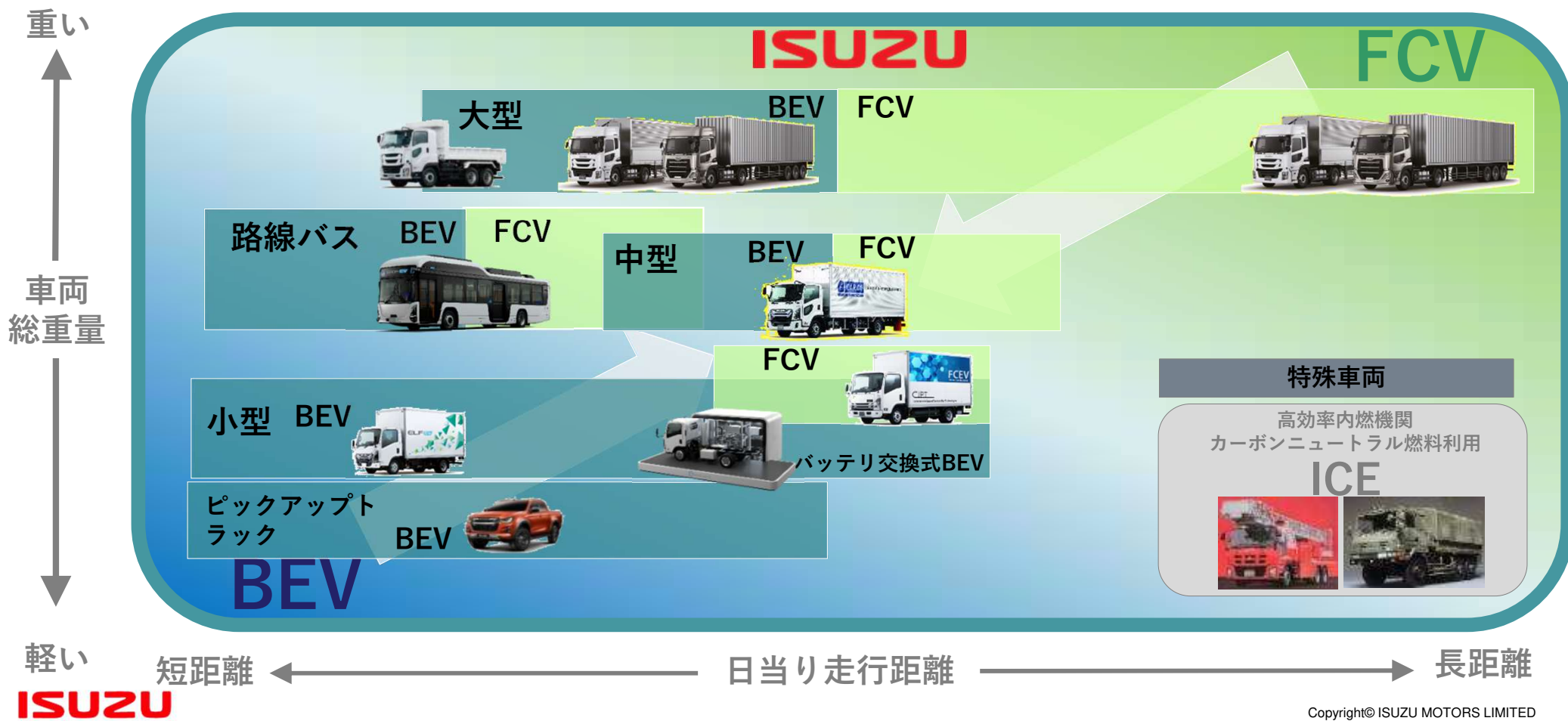
H<sub>2</sub> ICE  
水素エンジン

先行基礎  
開発検討中



# いすゞ カーボンニュートラル車両マッピング全体像

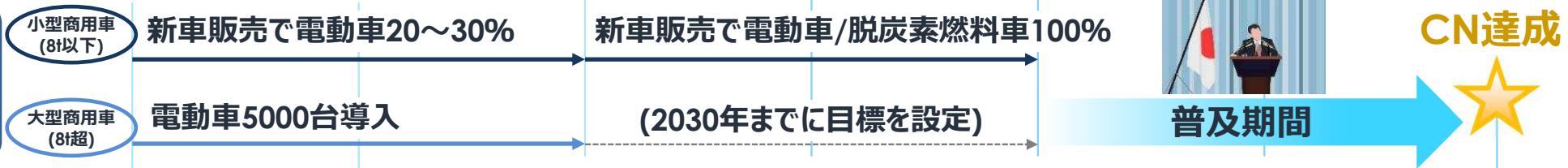
航続距離の短い領域はBEV、長い領域はFCV・CN燃料利用ICE車両



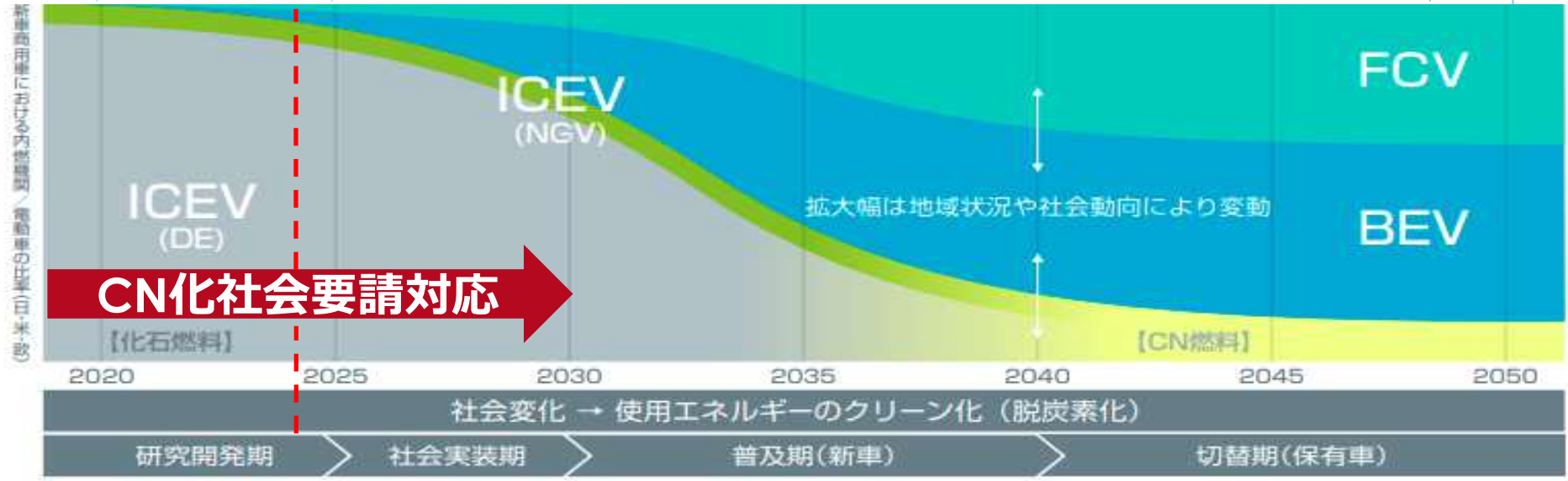
# 商用車シフティングシナリオ

2030年迄は国のグリーン成長戦略の目標値に対応すべくCN車両の導入を進めています  
 CN車両は電動車が主流、電動化が困難な車両はCN燃料を使用する内燃機関と想定

グリーン成長戦略



いすゞのCN戦略



\*ICEV: 内燃機関自動車(石油、ガス、CN燃料等の燃料を動力源とする車両) \*NGV: 天然ガス自動車 (Natural Gas Vehicle) \*CN燃料: カーボンニュートラル燃料の総称で、バイオ燃料や再生可能エネルギー由来の合成燃料等





## カーボンニュートラルに向けた取り組みのまとめ

- いすゞは商用車のリーディングカンパニーとしてカーボンニュートラル実現に向け積極的に挑戦、量産を見据えたカーボンニュートラル車両の開発を強力に進めていきます
- BEV・FCVは今後も社会実装の為に皆様の御協力の下に、実証実験を行い技術の見極めに取り組む一方、一部商品の市場投入を随時行っていきます
- 内燃機関が継続必要される場合を想定、CN燃料普及期に備えて低炭素で且つ高性能な内燃機関の開発（含む水素内燃機関）も継続して進めていきます

---

地球の「運ぶ」を創造する

**ISUZU**

**ISUZU GROUP**

---